

～寄せられたご意見を紹介します～

広聴 Q & A

昨年度は一年間に、市民のみなさんから市に対して 366 件の意見をお寄せいただきました。今年度も 4 月から 10 月末までの間に、295 件のご意見・ご要望をいただいています。今回は、その中からいくつかを市からの回答とあわせてご紹介します。

※ご紹介する「ご意見」、「回答」は、趣旨を損なわない範囲で一部編集しています。

ごみ袋の改良について

【ご意見】

現在のごみ袋は、以前のものに比べ、口が結びにくく、ごみを詰めたときに角があたるとすぐ破れてしまいます。

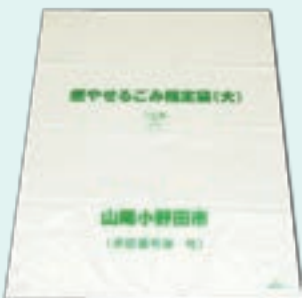
もっと柔軟性のあるものや、取っ手のついた袋に変えられませんか。

【回答】 廃棄物リサイクル課

市の指定ごみ袋に関しましては、これまでにいろいろご意見をいただいております。ご指摘のとおり「結びにくい」「裂けやすい」ということが多数を占めています。しかし、今のままでよいという意見があることも事実です。

現在、市といたしましては、広く皆様のご意見を聞き、今後、頻繁に指定袋を変え市民の皆様や関係者を混乱させることがないように研究、検討をしております。可能であれば、今年度中には何らかの見直しをする予定ですので、今しばらくお時間をいただければと思っております。

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。



▲本市の指定ごみ袋

医療費について

【ご意見】

市の財政が厳しい折、私ども年金生活者の市県民税や健康保険料なども大変厳しいものがあります。年配者が大挙して医院や整骨院に通っているのを見るにつけ、これでは医療費がパンクしてしまうと心配になります。実情を調査して是非改善していただきたいと思っております。

【回答】 国保年金課

高齢の方が複数の医療機関で受診しておられる現状は市でも把握しております。医療統計を見ますと、50 歳後半あたりから 1 人の方に複数の病気が発症する傾向が現れ、高齢になるに従って発症する病気の種類が更に増えています。これらの治療にあたり、適正に受診しておられれば良いのですが、1つの病気に対して複数の医療機関で受診しておられる方や、同じ医療機関で頻繁に受診しておられる方もいらっしゃいます。このような方が増えますと、不必要な医療費を使うことになり、ご指摘のとおり保険財政が逼迫することになります。市では、毎月国保連合会から送付される診療報酬明細書を点検しています。

本市の医療費の高さは県内でもトップクラスにありますので、医療費の適正化に向けた取組みとして、かかりつけ医の推進やジェネリック医薬品の奨励、保健事業の推進を行っております。また、病気や治療に対する不安等に関して保健師の訪問も行いますので、お気軽にご相談ください。